

## ADS Array Regeneration Kit Quick Guide for 3130 and 3730 Series

---

製品名: ADS Capillary Regeneration Kit

カタログ番号: 150007 - 4x7ml, for 3130 series  
150028 - 4x28ml, for 3730 series

### Introduction

ADS Array regeneration Kitは、キャピラリーの分離を迅速かつ簡単なワークフローで活性化する方法を提供し、ランニングコストの大幅な節約をもたらします。

### 推奨用途：

このキットは分離能が低下し始めた、またはエレクトロフェログラムにスミアが生じたキャピラリーで使用します。100回～500回泳動毎<sup>\*</sup>にこのキットで処理すると、アレイを最適な操作条件に保つことができます。このキット1製品で、手順1-21（150007 - 4x7ml, for 3130 series）または手順1-22（150028 - 4x28ml, for 3730 series）を1回行うことが可能です。

※クリーニングを行う頻度である泳動100～500回毎は目安です。シーケンサーの使用頻度とキャピラリーの状態に依存します。シーケンサー機種別に推奨されているキャピラリーの交換時期を大きく超えたキャピラリーでは、状態の回復が見られない可能性がございます。

### Note：

このキットで提供されるバッファーを取り扱う際は、手袋、ゴーグル、ラボコートなどの適切な保護具を着用してください。バッファーに触れた場合は、すぐに多量の水で体の部分を洗ってください。必要に応じて医療機関に相談してください。

### ユーザーによる用意が必要なもの：

脱イオン水

清浄なポリマーボトル（3730シリーズは30mLボトル、3130シリーズは8mLボトル）

## Protocol for 3730 Series

1. PCと機器を起動しData collection Softwareを起動します。
2. シーケンサーの水、廃液、1×バッファーをリザーバーから取り除き、空のリザーバーを元に戻します。
3. ポリマーボトルの位置に脱イオン水で満たされたボトルをロードします。
4. 「change polymer」を実行します。（異なる lot番号または任意のロット番号を使用できます）システムが気泡（babble）について要求する場合、常に「No/いいえ」をクリックしてください。「filling the array」の操作をすることなく、「Finish/完了」をクリックしてください。このウィザードをもう一度繰り返します。（このステップ中にエラーメッセージが表示された場合は「Clear Errors」をクリックしてステップ5に進みます。
5. マニュアルコントロールに移動し、メインのドロップダウンメニューから「polymer delivery pump」を選択します。
  - ✓ 「Close Buffer Valve」を選択し、コマンドを送信します。
  - ✓ 「Home Piston」を選択し、コマンドを送信します
  - ✓ 「Move Piston Down」を選択し、最大許容ステップ数（65500）を入力、コマンドを送信
6. マニュアルコントロールに移動し、メインドロップダウンメニューから「Oven」を選択します。「Select Oven State」と「On」を選択し、コマンドを送信します。「Set oven temperature」を選び、「40」に設定、コマンドを送信します。Note：より強いクリーニングが必要な場合、温度を45°Cまたは50°Cに設定することも可能です。
7. ドアを開け、Buffer 1をポリマーの位置に取り付けます。
8. システムで手順4-6を繰り返します。
9. キャピラリー内にBuffer 1が満たされた状態のままステップ8を終了し、システムを**60分間**静置します。
10. ドアを開け、Buffer 2をポリマーの位置に取り付けます。
11. システムで手順4-6を繰り返します。
12. キャピラリー内にBuffer 2が満たされた状態のままステップ11を終了し、システムを**5分間**静置します。
13. ドアを開け、Buffer 3をポリマーの位置に取り付けます。
14. システムで手順4-6を繰り返します。
15. キャピラリー内にBuffer 3が満たされた状態のままステップ14を終了し、システムを**30分**静置します。
16. ドアを開け、Buffer 4をポリマーの位置に取り付けます。
17. システムで手順4-6を繰り返します。
18. キャピラリー内にBuffer 4が満たされた状態のままステップ17を終了し、システムを**5分**静置します。
19. ドアを開け、脱イオン水を満たしたボトルを取り付けます。
20. 手順4-6を繰り返します。Blockとキャピラリーは水で満たされていることをご確認ください。
21. 使用する適切なポリマーのボトルをセットし、「Change Polymer Wizard」をスタートさせます。気泡がある場合はすべて除去します。アレイを充填しウィザードを終了します。
22. すべてのリザーバーをフレッシュな水と1X running bufferで満たします。

ご注意：新品のキャピラリーアレイの使用を始めるときと同じく、最適な状態になるまでに1, 2回Runすることが必要になる可能性があります。クリーニングが不足しているような場合は、すべてのプロセスを繰り返し行ってください。ただし、このキット1製品で、手順1-21（150007 - 4x7ml, for 3130 series）または手順1-22（150028 - 4x28ml, for 3730 series）を1回行うことが可能です。

クリーニングプロセスにより、キャピラリーと接続部分からデブリが除去され、一部のコネクションが緩む可能性があります。キャピラリーの位置と接続の調整が必要となる場合があります。

### Protocol for 3130 Series

1. PCと機器を起動しData collection Softwareを起動します。
2. シーケンサーの水、廃液、1×バッファをリザーバーから取り除き、空のリザーバーを元に戻します。
3. ポリマーボトルの位置に脱イオン水で満たされたボトルをロードします。
4. 「Replenish Polymer Wizard」をRunし、「Different Lot」を選択します。システムが気泡 (babble) について要求する場合、常に「No/いいえ」をクリックしてください。「filling the array」の操作をすることなく、「Finish/完了」をクリックしてください。（このステップ中にエラーメッセージが表示された場合は「Clear Errors」をクリックしてステップ5に進みます。
5. 「Finish/完了」をクリックした後、マニュアルコントロールに移ります。
  - ✓ 「Buffer Valve」を選びコマンドを送信することでバッファバルブを閉めます。
  - ✓ 「Polymer delivery pump」を選択します。
  - ✓ 「Home Piston」を選択し、コマンドを送信します
  - ✓ 「Move Piston Down」を選択し、最大許容ステップ数 (37500) を入力、コマンドを送信
  - ✓ ステップ5を3回繰り返し、キャピラリー内をリンスします。「Home Piston」を選択し、コマンドを送信するとpistonが上がり元の場所に戻ります。
6. マニュアルコントロールに移動し、メインドロップダウンメニューから「Oven」を選択します。「Select Oven State」と「On」を選択し、コマンドを送信します。「Set oven temperature」を選び、「40」に設定、コマンドを送信します。Note：より強いクリーニングが必要な場合、温度を45°Cまたは50°Cに設定することも可能です。
7. ドアを開け、Buffer 1をポリマーの位置に取り付けます。
8. 手順4-6を繰り返します。
9. Buffer 1でキャピラリーを満たした状態で、**60分**静置します。
10. ドアを開け、Buffer 2をポリマーポジションにセットします。
11. 手順4-6を繰り返します。
12. Buffer 2でキャピラリー内を満たした状態で、ステップ11の後システムを**5分**静置します。
13. ドアを開け、Buffer 3をポリマーポジションにセットします。
14. 手順4-6を繰り返します。
15. Buffer 3でキャピラリー内を満たした状態で、ステップ14の後システムを**30分**静置します。
16. ドアを開け、Buffer 4をポリマーポジションにセットします。
17. 手順4-6を繰り返します。
18. Buffer 4でキャピラリー内を満たした状態で、ステップ17の後システムを**5分**静置します。
19. ドアを開け脱イオン水をポリマーポジションにセットします。
20. 手順4-6を繰り返します。Blockとキャピラリー内を水で満たします。
21. 「Replenish polymer wizard」をRunします。
  - ✓ ポリマーを再充填するように表示されたら、フレッシュなポリマーボトルをアプラインしてください。
  - ✓ この最後のウィザードで、ポリマーが充填された後に気泡はすべて除去してください。
  - ✓ キャピラリーアレイを満たし、ウィザードを終了させます。（ドアは閉めます）
  - ✓ フレッシュな1×Running bufferと水でバイアルを満たします。

ご注意：新品のキャピラリーアレイの使用を始めるときと同じく、最適な状態になるまでに1, 2回泳動することが必



要になる可能性があります。クリーニングが不足しているような場合は、すべてのプロセスを繰り返し行ってください。ただしこのキット1製品で、手順1-21（150007 - 4x7ml, for 3130 series） または手順1-22（150028 - 4x28ml, for 3730 series）を1回行うことが可能です。

クリーニングプロセスにより、キャピラリーと接続部分からデブリが除去され、一部のコネクションが緩む可能性があります。キャピラリーの位置と接続の調整が必要となる場合があります。

ご不明の点は下記までお問合せ下さい。

株式会社エムエステクノシステムズ

●東日本 TEL (03)3235-0673 FAX (03)3235-0669

●西日本 TEL (06)6396-6616 FAX (06)6396-6644

e-mail: [technosales@technosaurus.co.jp](mailto:technosales@technosaurus.co.jp)